



## ジャパン・バイアウト・マンスリー

2012年4月

### 投資保有期間と未エグジット案件パイプライン

当社のデータベースを使って日本におけるバイアウト案件の平均的な投資保有期間を調べました。これまで約630件の投資が実行され、このうち約370件でファンドによる投資持分が売却（エグジット）されています。

### 既エグジット案件にみる平均保有期間

バイアウト投資における平均保有期間は長期化しています。

1999-2006年：エグジット 132件、平均保有期間 2.6年  
2007-2008年：エグジット 94件、平均保有期間 3.2年  
2009年：エグジット 33件、平均保有期間 3.3年  
2010年：エグジット 36件、平均保有期間 4.8年  
2011年：エグジット 58件、平均保有期間 4.6年  
2012年(～4月)：エグジット 20件、平均保有期間 5.6年

2000年代の前半は相当数の案件が2年未満で投資回収されていましたが、近年は多くのGP（ファンド運用者）が投資先企業の経営改善・事業拡大に時間をかけるようになり、2年未満でエグジットに至る案件は少数です。

2008年秋のリーマンショックは2009-10年のエグジット数を大幅に減らし、積み残し分が翌年以降にずれ込んだ結果、2010年以降はエグジットまでの保有期間が4年を大きく超えました。2011年は東北震災、タイ洪水、株価下落などエグジットにとって強い逆風が吹きましたが、積み残し解消の必然性から2007-08年を上回る水準のエグジットが実施さ

れました。2012年もハイペースが維持されています。今年のエグジット案件の中にはファンドによる保有期間が7年を超えるものも散見され、平均保有期間がさらに1年伸びました。

### 未エグジット案件パイプライン

投資保有期間が5年を超える未エグジット案件： 約75件  
投資保有期間が3年以上5年未満の未エグジット案件：約85件  
投資保有期間が3年未満の未エグジット案件： 約90件

この未エグジット案件パイプラインの「高齢化」はかなり深刻です。

各々のファンドがおかれている状況は様々ですが、総じて今後も着実にエグジットを重ねていくことが必要で、弊社では今後も高水準のエグジット活動を見込んでいます。他方、多くのファンドが新規ファンド募集で苦戦を強いられており、これらのファンドでは新規投資のペースは当面低調なものとなるでしょう。「ハイペースのエグジット」と「ファンド募集の苦戦・スローペースの新規投資」の組み合わせが続けば、GP（ファンド運用者）の運用資産が急激に減少し十分な運用体制が維持できなくなるファンドが出てくる可能性があります。GPにとって次期ファンド募集の成功は従来にもまして重要な課題となっています。

このような状況の下、日本バイアウト市場における投資機会と投資可能資金の需給は今後さらにバランスを欠くものとなりそうです。そして十分な投資資金を持つファンドが優良な投資機会を独占することになるのかもしれない。

### 新規バイアウト案件

(4月30日までの情報より)

#### アイシグマ、コインパーキング運営の新総企を買収

丸紅傘下のバイアウトファンド、アイシグマ キャピタルは、米系大手投資ファンドのリバーサイドカンパニーの投資先でコインパーキング運営の新総企の全株式を取得した。

#### ACA、テックファーム株25%を取得

投資ファンドのACAは、モバイル関連業務向けシステムソリューションのテックファーム(JASDAQ3625)の株式25.35%を、第三者割当増資を通じて取得した。テックファームの2011年7月期の売上高は27億円、営業利益は2億8千万円だった。

### **ローンスター、事業金融の中央三井ファイナンスサービスを買収**

米系大手投資ファンドのローンスターは、事業金融の中央三井ファイナンスサービスの株式100%を中央三井信託銀行から取得した。買収後はCKファイナンスと改称する予定。

---

## **投資中案件ニュース**

---

### **日本医療事務センター、一時金ゼロの老人ホームを今年度5棟新設**

米系大手投資ファンド、カーライルの投資先で医療事務受託と介護事業の日本医療事務センターは、今年度介護付き有料老人ホームを5棟新設する。同社の介護事業はこれまで在宅介護が中心だった。入居時の一時金をゼロにして、入居率を引き上げる。

---

## **エグジット案件**

---

### **キャスキャピタル、キンレイ株をオリックスに売却**

独立系投資ファンドのキャスキャピタルと大阪ガスは、冷凍麺製造と外食チェーン運営のキンレイの全株式を、オリックスに売却した。キャスと大阪ガスは、2005年からキンレイに投資していた。

### **リバーサイドカンパニー、新総企をアイシグマに売却**

米系大手投資ファンドのリバーサイドカンパニーは、コインパーキング運営の新総企の全株式をアイシグマキャピタルに売却した。リバーサイドは、2008年から新総企に投資していた。

### **J-Will、帝産観光株を同社経営陣に売却**

独立系大手投資ファンドのJ-Willパートナーズは、観光バス運営の帝産観光の全株式を、同社経営陣に売却した。は、2004年から同社に投資していた。

### **J-Will、関東自動車をみちのりHDに売却**

独立系大手投資ファンドのJ-Willパートナーズは、路線バス運営で栃木県最大手の関東自動車の全株式を、みちのりHDに売却した。J-Willは、2006年から同社に投資していた。

---

## **ファンド・ニュース**

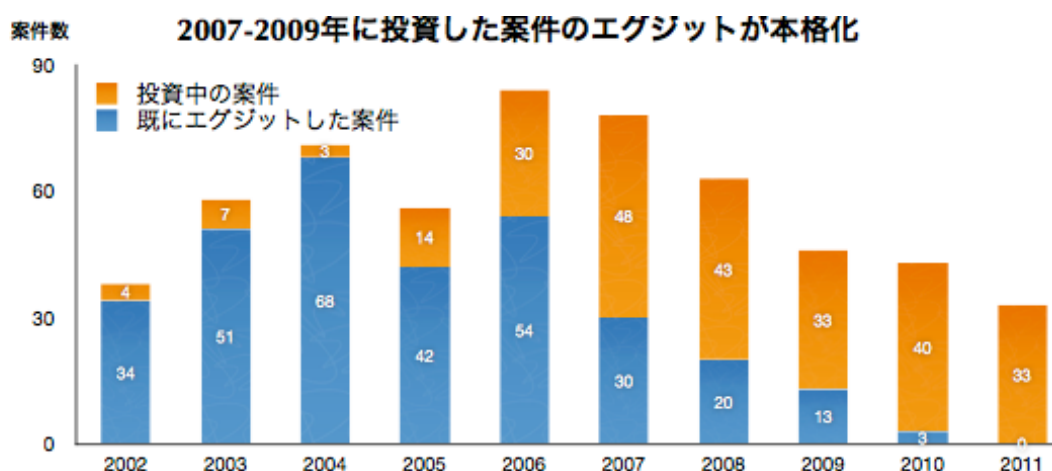
---

## SMBCベンチャーキャピタルとNECキャピタルソリューションズ、次世代技術フォーカスのベンチャーファンドを共同で設立

SMBCベンチャーキャピタルとNECキャピタルソリューションズは、電子機器、エネルギー、環境、医療分野の次世代技術にフォーカスしたファンドを共同で設立する。

## データで見る日本のバイアウト

2006年までに投資した案件のエグジットが順調に進み、エグジットの中心は2007-2009年に投資した案件に軸足が移ろうとしています。潜在的なストラテジックバイヤーである国内大手企業の潤沢な資金を背景に、これら案件のエグジットも順調に進むと考えられます。



## 株式市況

		月間騰落	
TOPIX	804.27	-50.08	-5.9%
Nikkei JASDAQ	1390.36	+19.70	+1.4%

本レターはブライトラストPEジャパン株式会社により作成されています。ブライトラストPEジャパン株式会社は東京に拠点を持つ独立系投資助言・ファ

ンド運用会社です (<http://brightrust.jp/>)。本レターの内容に関するご質問等は [mail@brightrust.jp](mailto:mail@brightrust.jp) までご連絡下さい。また日々のパイアウト関連ニュースについては <http://japanesepenews.blogspot.com/> (英文) もご笑覧ください。

本レターはブライトラストが信頼できると判断した情報をもとに作成したものです。これら情報の内容あるいはその正確性等についてブライトラストは一切確認しておりません。したがってブライトラストは本レターに記載された内容の正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。またブライトラストは本メールを受領した結果として生ずるいかなる損害に対しても責任を持つものではありません。本レターに記載された内容・意見等はレター作成時のものであり予告無く変更されます。ブライトラストの承諾なく、本レターを、社内用、社外用を問わず、コピーやファックス、ウェブ等で複製・転載することは堅く禁じられています。

---

本レターの配信が不要な方はお手数ですが[mail@brightrust.jp](mailto:mail@brightrust.jp) までご連絡下さい。

著作権：ブライトラスト PEジャパン株式会社